第６部　生産費

解　　説

この部には、「農業経営統計調査」の結果から農産物及び畜産物の生産費に関する統計を掲載した。

１　調査の概要

農産物生産費統計は、各種農産物の生産コストを明らかにし、農政（農業者戸別所得補償制度、生産対策、経営改善対策等）の資料の整備を行うことを目的としている。

畜産物生産費統計は、畜産物の生産費コストを明らかにし、加工原料乳生産者補給金、肉用子牛の保証基準価格及び牛肉の安定基準価格の算定、経営改善対策等の資料を整備することを目的としている。

調査標本は、全国平均の標準誤差率（目標精度）をもとに設定された全国の標本数を、2005年農林業センサスに基づき、都道府県ごとに作付面積または飼養頭数規模別に比例配分した。

調査農家は、都道府県ごとに、作付面積または飼養頭数規模別標本数に応じ、該当の作付面積または飼養頭数規模階層から抽出した。

調査は、調査農家による記帳と、職員の面接による聞き取り調査を併用した。

調査の期間は、生産費対象品目に応じて以下の通りである。

米及び大豆：１月から12月までの１年間
小　　麦：前年９月から８月までの１年間
畜　産　物：４月から翌年３月までの１年間

２　定義及び用語の解説

(1)　生産費の概念

生産費とは、農畜産物の一定単位量の生産のために要した費用の合計をいう。

ここでいう費用の合計とは、農畜産物の生産に要した材料、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、労働費、固定資産等の財貨及び用役等の合計をいう。

(2)　生産費の種類

生産費統計においては「生産費」を以下の３種類に区分している。

「生産費(副産物価額差引)」：
生産に要した費用合計(物材費と労働費の合計)から副産物価額を控除したもの。

「支払利子・地代算入生産費」：
「生産費(副産物価額差引)」に、実際に支払った支払利子、支払地代を加えたもの。

「資本利子・地代全額算入生産費」：
「支払利子・地代算入生産費」に、実際には支払いを伴わない自己資本利子、自作地地代を擬制的に計算して加えたもの。

(3)　収益性指標の計算

収益性は本来、農業経営全体の経営計算の結果から求めるものであるが、ここでは生産費調査の結果から、他作物等と収益性を比較する指標として求めたものであり、利用に当たっては十分留意されたい。

なお、収益性の計算式は以下による。

所　　得＝粗収益－｛生産費総額－(家族労働費＋自己資本利子＋自作地地代)｝

１日当たり所得＝所得÷家族労働時間×８時間（１日換算）

家族労働報酬＝粗収益－(生産費総額－家族労働費)

１日当たり家族労働報酬＝家族労働報酬÷家族労働時間×８時間（１日換算）

注：粗　収　益＝主産物価額＋副産物価額
生産費総額＝費用合計＋支払利子＋支払地代＋自己資本利子＋自作地地代

３　利用上の留意事項

本統計(全国値以外)の結果は、全国の標本設計において当該地域に標本配布された集計戸数の平均であり、必ずしもその地域の平均値を示しているとは言えないので、利用にあたっては留意されたい。